

輸送包装試験のご案内

- 目次 -

- 1. 輸送包装試験概要**
- 2. 輸送包装試験場のご案内・試験機一覧**
- 3. 包装試験機の主な設備**
- 4. 試験依頼について**

輸送包装試験とは・・・物流環境の**危険要素**を想定し量産前に製品品質を見極めるためのテスト

【 様々な**危険要素** 】

凡例・・・ : 振動 : 圧縮 : 衝撃 : 気象条件

トラック輸送



海上輸送



エア輸送



貨車輸送



庫内保管



フォーク荷役



温度/湿度



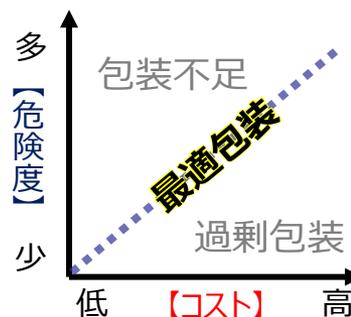
物流には、振動/圧縮/衝撃/気象条件などの危険要素が多くある



危険要素を回避する包装が必要

【 輸送包装試験の目的 】

製品の特性・輸送環境などを基に、包装による保護が適正かどうか評価・検証するために実施



- ① 振動試験
- ② 圧縮試験
- ③ 傾斜衝撃試験
- ④ 落下試験

JIS規格(日本)、ISTA規格(米国)などの国際規格やHPS(Honda規格)など依頼主の社内規格に基づいて各種試験を実施し、評価

輸送時の製品品質を維持する為、様々な物流環境を想定・再現した輸送包装試験を行っている

輸送包装貨物試験場



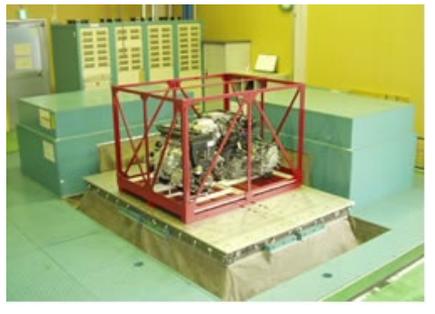
開設：2004年1月
スペース：272m²



〒513-0826
三重県鈴鹿市国府町7658-17
(HLI 三重事業所内)

包装試験機一覧

大型振動試験機



圧縮試験機



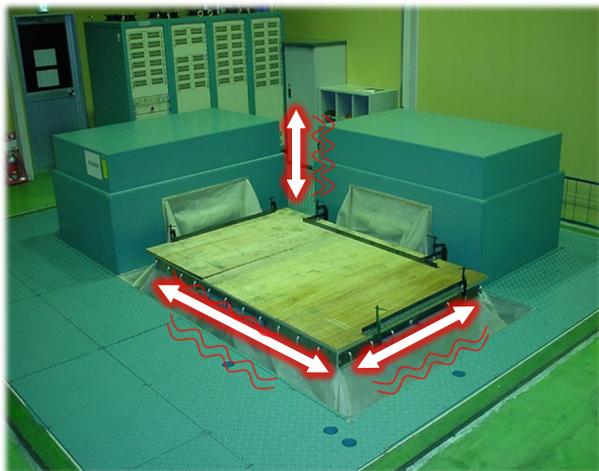
傾斜衝撃試験機



落下試験機



振動試験機



振動方向	垂直(上下)・水平(前後・左右)
試供品重量	最大1,200kg
振動盤サイズ	1,600mm×2,400mm
最大変位	30mmp-p
最大加速度	1.2G
振動範囲	3~100Hz(ランダム波) 5~100Hz(正弦波)
振動波形	正弦波・ランダム派・実波形再現

輸送耐久性

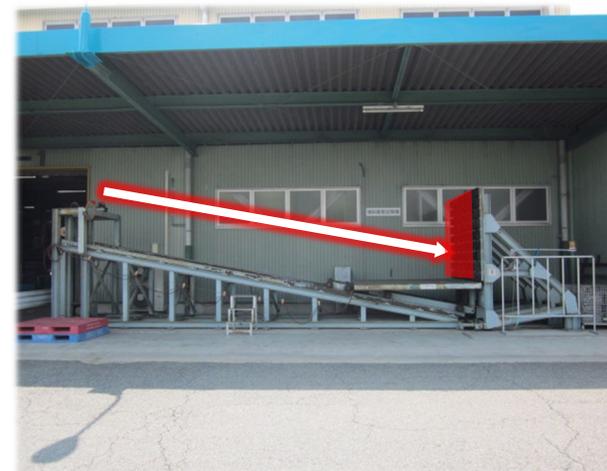
圧縮試験機



最大荷重	200kN
圧縮盤サイズ	2,600mm×2,000mm
荷重レンジ	200・100・40・20・10・4kN (6段階自動上位切替)

段積み強度

傾斜衝撃試験機



供試品重量	最大1,800kg
傾斜台サイズ	2,300mm×2,300mm
傾斜角度	10°
台車走行距離	最大5,600mm

輸送時の衝撃強度

手順

お客様 HLI	<ul style="list-style-type: none"> ・事前打ち合わせ ・試験依頼/予約 ⇒ 右記連絡先（*1）へ連絡
HLI	<ul style="list-style-type: none"> ・空き状況表/「試験依頼書」⇒ メールにて送付
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・「試験依頼書」作成（*2）
HLI	<ul style="list-style-type: none"> ・見積書作成 ⇒ メールにて送付
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・試験実施
HLI	<ul style="list-style-type: none"> ・請求書作成 ⇒ メールにて送付（*3）
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・試験代お支払（*4）

*1

事前に試験希望日や内容について打ち合わせをさせていただきます。

(株)ホンダロジスティクス

営業統括部 TEL : 03-5357-1044

Mail : sales@honda-logistics.co.jp

HP : Honda Logistics Inc

*2

試験日が確定しましたら「試験依頼書」に詳細を記入し、メールにてご提出ください。

*3

試験月の末日までにメールにて送付させていただきますが、お客様の締日により請求書を即日発行希望の場合は、ご連絡ください。

*4

試験日の翌月末日までに指定口座に振込みをお願い致します。

別途、お客様のお支払条件の調整をしている場合は、そちらが優先されます。

その他、不明な点がございましたら、ご連絡ください。

ご検討の程 よろしくお願ひ致します
